

# 第7次総合計画

## 政策・施策シート

【ひと】



# 【ひと】子ども未来政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 (※H30)	目指す方向	
子どもを安心して産み、楽しく育て、子どもが健やかに成長できるまち	合計特殊出生率		子どもが一人の人格として尊重され、最善の利益を享受しながら、健やかに成長できることを目的としています。
	1.71	↗	
	子ども女性比		
	0.22470	↗	

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R4目標値	R4実績値	R4達成度 (%)	参 考			
				R4目標値	R5目標値		
【施策1】 母子保健の推進と安心な育児環境の充実	乳幼児健康診査受診率【%】					<ul style="list-style-type: none"> <li>●思春期の子ども対策事業</li> <li>●母子保健医療サービス事業</li> <li>●安心出産支援事業</li> </ul>	<b>【重点化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども子育て応援事業 子ども子育て応援センターの職員の相談・対応における専門性の向上を図りつつ、各関係機関との連携を強化していきます。</li> <li>●妊娠・出産包括支援事業 妊娠・出産に係るニーズの多様化や妊婦健診、産後ケア事業等の取組(多胎妊産婦への支援拡充等)に係る重点化を図ります。</li> <li>●子ども発達センター運営事業 センターの専門職の体制を整備し、課題となっている新患の待ち時間の短縮等により、将来に向けた安定した運営を確保し、子どもの療育及び発達支援に係る重点化を図ります。</li> </ul> <b>【再編・再構築】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童福祉法等の一部の改正が令和6年4月1日に施行されることに伴い、国が掲げる「こども家庭センター」&lt;「子ども子育て応援センター（子ども家庭総合支援拠点）」と「ままんちさせば（子育て世帯包括支援センター）」の一体化及び機能強化&gt;設置に向けて準備・検討を進め、支援体制の強化を図ります。</li> </ul>
	<b>96.0</b>	<b>95.0</b>	<b>98.9%</b>	96.0	96.0		
	KPI達成状況の分析						
	●母子保健の効果的な推進、安心な育児環境の充実に繋げるという趣旨での施策展開においては、母子保健法や子ども・子育て支援法等の法令に基づき、KPI向上に広範かつ直接的に寄与し比較優位である「健康診査事業」を始め、ほぼ大半の事業（細々目）について、関連法令の趣旨を踏まえたうえで、適切かつ計画的な実施・運用を図っており、その効果の表れであると捉えています。						
	●母子保健の効果的な推進、安心な育児環境の充実に繋げるという趣旨での施策展開においては、母子保健法や子ども・子育て支援法等の法令に基づき、KPI向上に広範かつ直接的に寄与し優位である「福祉医療支給事業」を始め、ほぼ大半の事業（細々目）について、関連法令の趣旨を踏まえたうえで、適切かつ計画的な実施・運用を図っており、その効果の表れであると捉えています。						
	乳幼児福祉医療費受給資格の認定率【%】					<ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉医療支給事業</li> <li>●児童扶養手当支給事業</li> <li>●児童手当支給事業</li> </ul>	<b>【再編・再構築】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉医療支給事業 令和5年4月分から償還払い方式で対象を高校生等まで拡大したところですが、市長会において県の制度として試行的に3年間実施し、適正な金額などを検証したうえで改めて協議するとされたとともに議会からは早い時期での現物給付化に向け、早急に調整等を鋭意行うこととの要望が付されていることから、引き続き県や市長会との調整を行い今後の方向性について検討を行います。また制度の充実に図るため医師会等との連携にも努めます。</li> <li>●母子家庭等自立支援事業 ひとり親家庭等に対しては、経済的支援をはじめとした各種支援策について、関係機関と連携や、佐世保市雇用対策協定運営協議会を活用することできめ細やかな周知を行いながら、自立に向けた支援を行います。</li> </ul>
	<b>100</b>	<b>98.3</b>	<b>98.3%</b>	100	100		
	KPI達成状況の分析						
	●母子保健の効果的な推進、安心な育児環境の充実に繋げるという趣旨での施策展開においては、母子保健法や子ども・子育て支援法等の法令に基づき、KPI向上に広範かつ直接的に寄与し優位である「福祉医療支給事業」を始め、ほぼ大半の事業（細々目）について、関連法令の趣旨を踏まえたうえで、適切かつ計画的な実施・運用を図っており、その効果の表れであると捉えています。						
	●母子保健の効果的な推進、安心な育児環境の充実に繋げるという趣旨での施策展開においては、母子保健法や子ども・子育て支援法等の法令に基づき、KPI向上に広範かつ直接的に寄与し優位である「福祉医療支給事業」を始め、ほぼ大半の事業（細々目）について、関連法令の趣旨を踏まえたうえで、適切かつ計画的な実施・運用を図っており、その効果の表れであると捉えています。						

# 【ひと】子ども未来政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 (※H30)	目指す方向	
子どもを安心して産み、楽しく育て、子どもが健やかに成長できるまち	合計特殊出生率		子どもが一人の人格として尊重され、最善の利益を享受しながら、健やかに成長できることを目的としています。
	1.71	↗	
	子ども女性比		
	0.22470	↗	

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R4目標値	R4実績値	R4達成度（%）	参 考			
	R4目標値	R4実績値	R4達成度（%）	R4目標値	R5目標値		
【施策2】 地域での子どもと子育ての支援	地域子ども・子育て支援事業の平均利用回数【回】					<ul style="list-style-type: none"> <li>●名切地区官民連携事業</li> <li>●地域子育て支援センター事業</li> <li>●子育て支援啓発事業</li> <li>●子育て環境づくり推進事業</li> <li>●ファミリーサポートセンター事業</li> </ul>	<p><b>【再編・再構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域子育て支援センター事業 在宅の親子を対象とした民間の認定こども園による子育て支援事業と共に、行政保育士の訪問による助言指導等の活動を通じ、支援内容にかかる質の面での底上げを図って参ります。</li> <li>●ファミリーサポートセンター事業 全市的な視点での普及促進のための対策として、利用状況等の面で低調が見られる周辺地域において、預かりの体験会等を通じ、事業自体の周知を強化するとともに、対人援助の経験がある方に子育て支援に関する講座への参加を促し事業に対する理解を得るよう努めるなど、依頼及び提供の両面に係る会員の掘り起こしを図ります。</li> <li>●児童センター運営事業 子ども・子育て会議分科会によるあり方提言の内容を踏まえ、今後のあり方に係る具体的な方策等を整理した作業行程表(ロードマップ)に基づき、地域や関係者の意向等を確認しながら、進捗管理を図ります。</li> <li>●中央公園屋内遊び場管理及び運営事業 子ども・子育てを通じ人が集い、繋がり合う場となるべく、事業者との意見交換や関係部局との連携を密にし、施設の認知度向上及び利用の促進を図ります。</li> <li>●児童福祉週間事業 令和2年度当初予算編成時において、事業の見直し・事業費の縮減を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度から4年度までの間、「わんぱく広場」の開催中止を余儀なくされました。今後は、事業実施状況を注視するとともに、地域コミュニティにおけるボランティア団体等による子育て支援の広がり推進するなど、身近な地域での人財育成・活動の実践を図ります。</li> </ul>
	<b>47</b>	<b>30.9</b>	<b>65.7%</b>	47	50		
	KPI達成状況の分析						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域での子どもと子育ての支援を推進するための施策展開においては、子ども・子育て支援法等の法令に基づき、KPI向上に広範かつ直接的に寄与し上位に位置する「地域子育て支援センター事業」を始め、ほぼ全事業について、関連法令の趣旨を踏まえたうえで、適切かつ計画的な実施・運用を図っております。</li> <li>●令和4年度においては、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域子育て支援センター等における活動について制限をかけざるを得ない状況にあったため、利用が伸びない状況となりました。</li> </ul>						
【施策3】 幼児教育・保育の充実	保育所待機児童数（10月1日現在）【人】					<ul style="list-style-type: none"> <li>●私立保育所・幼稚園等運営事業</li> <li>●保育料収納事務事業</li> <li>●保育環境改善事業</li> <li>●保育所看護師等配置促進事業</li> </ul>	<p><b>【重点化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「佐世保市子ども・子育て支援事業計画」(令和2年度から6年度)における教育・保育の量に係る需給については、既存施設の範囲で一定のバランスが保たれているものと整理していますが、地域的な量の見込みと確保方策のバランス等といった事象にあたっては、教育・保育環境の整備におけるソフト及びハード両面での対応を視野に入れながら、適切かつ柔軟な運用が求められます。</li> <li>●保育士確保緊急対策事業 年度途中に発生する途中入所に必要となる保育士を確保することで、待機児童を出さないための重要な事業であり、ハード面では、「保育所施設整備事業」等について、子ども・子育て会議分科会での意見等を参考に整理した「保育所等施設整備指針」を踏まえたうえで、財源面での事業費の平準化等も考慮しつつ、重点的かつ計画的な対応を図り、幼児教育・保育の需給のバランスを勘案しながら取り組んでまいります。</li> </ul>
	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>100%</b>	0	0		
	KPI達成状況の分析						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「私立保育所等運営費」や「私立幼稚園等運営費」を始め、ほぼ全ての取組について、児童福祉法や子ども・子育て支援法等の法令等に基づき、適切かつ計画的な実施・運用を図ってきていることから、その効果の表れであると捉えています。</li> </ul>						
	幼児教育・保育の量の確保率（10月1日現在）【%】					<ul style="list-style-type: none"> <li>●一時預かり事業</li> <li>●幼児教育センター管理運営事業</li> <li>●私立保育所・幼稚園等運営事業</li> </ul>	
	<b>100</b>	<b>98.1</b>	<b>98.1%</b>	100	100		
	KPI達成状況の分析						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「私立保育所等運営費」や「私立幼稚園等運営費」を始め、ほぼ全ての取組について、児童福祉法や子ども・子育て支援法等の法令等に基づき、適切かつ計画的な実施・運用を図ってきていることから、その効果の表れであると捉えています。</li> </ul>						

## 【ひと】教育政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H30）	目指す方向	
学校教育及び社会教育を充実し、誰もが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができるまち	市民1人あたりの生涯学習に関わった回数	8.8回/人	学校教育や生涯学習環境の場において、子どもたちを含む市民が生涯を通じて自らが学び、文化、スポーツ等に親しむことができる環境の充実を図ることにより、生きがい、満ちた暮らしを実現します。

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R4目標値	R4実績値	R4達成度 （%）	参 考			
				R4目標値	R5目標値		
<b>【施策1】</b> <b>学校教育の充実</b>	<b>全国学力調査結果【%】</b>					<ul style="list-style-type: none"> <li>●教職員資質向上事業</li> <li>●基礎学力学習意欲向上推進事業</li> <li>●教育センター事業</li> <li>●小・中学校施設整備事業</li> </ul>	<b>【重点化】</b> ●特色ある学校学校づくり対策事業、教職員資質向上事業 校内研修を核とした授業改善による学力の充実を図ります。そのため、学力充実のための佐世保モデルの立案と実施、及び家庭学習の充実を図る学校と家庭の連携強化に取り組みます。 スマート・スクール・SASEBO構想を核とした個別最適な学びと協働的な学びを実現します。そのために端末を活用した家庭学習システムの立案と効果的な端末活用の促進、PCを活用した学力調査の実施、学習者用デジタル教科書の効果的な活用支援に取り組みます。 ●教育センター事業 すべての教職員が、教育DXに対する理解とICT活用技能を向上させるため、民間企業と連携し研修の充実を一層図ります。
	<b>99.0</b>	<b>93.7</b>	<b>94.6%</b>	99.0	100.0		
	<b>KPI達成状況の分析</b>						
	●学力向上対策として、学校における管理職員の組織マネジメント力及び教員の授業改善に向けた指導力向上を図るためのブロック別研究会と教育センターにおける授業改善研修を実施しました。これらにより各学校において、校長のリーダーシップのもと組織的に学力向上に取り組むサイクルが構築されるとともに、学校の核となる教員の資質向上が一定図られました。 ●学力調査の結果、小・中学校ともに国語科において昨年度から全国との差が縮まってきており、指導の成果が見られますが、算数・数学の授業改善に課題を残しました。今後、学校組織による学力向上対策とすべての教師の授業改善への意識改善及び指導力向上を図るため、各学校における校内研修支援の手立てを充実させる必要があります。						

# 【ひと】教育政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H30）	目指す方向	
学校教育及び社会教育を充実し、誰もが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができるまち	市民1人あたりの生涯学習に関わった回数	8.8回/人	学校教育や生涯学習環境の場において、子どもたちを含む市民が生涯を通じて自らが学び、文化、スポーツ等に親しむことができる環境の充実を図ることにより、生きがいに満ちた暮らしを実現します。

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R4目標値	R4実績値	R4達成度 （%）	参 考			
				R4目標値	R5目標値		
【施策1】 学校教育の充実	全国体力・運動能力調査結果【%】					●学校体育実技指導者研修事業  ●小学校体育学習サポーター派遣事業	【重点化】 ●学校体育実技指導者研修事業 体育学習専門の講師による、体育・スポーツに対する学習指導及び実技指導に加え、「からだを動かすことは楽しい」ということを体感できる授業づくりや指導方法の研修会を行い、より一層の充実を目指します。  ●小学校体育学習サポーター派遣事業 令和3年度に「小学校体育大会」の見直しを行い、新規事業として、小学校体育の授業に地域の外部指導者（サポーター）を派遣する本事業を創設しました。専門的な知識や技能を持った指導者と協力しながら授業を進めることで、学習指導要領に基づいた体育授業の充実と、教員の資質向上を目指します。
	99.5	98.4	98.9%	99.5	100.0		
	KPI達成状況の分析						
	●全国や県と同様に体力は大きく低下していますが、令和3年度と比較すると、中学校は総合得点において向上が見られました。  ●「運動やスポーツが好き」と「運動習慣」及び「体力合計点」には相関関係があることから、令和3年度に作成した「佐世保市の義務教育9年間におけるスポーツ推進のための基本方針」に基づき、まずは運動やスポーツ好きな児童を増やす取組を行います。						
	全国学習状況調査児童生徒質問紙結果【%】					●生徒指導充実事業  ●教育相談活動事業	【重点化】 ●生徒指導充実事業 不登校児童生徒支援策の一つとして、不登校特例校の研究と設置に向けた計画立案と設置準備をすすめ、すべての子どもたちに応じた支援・指導の充実に取り組みます。また、SSWのメンタルケア技能・資質を一層向上させるため、SSW内のリーダーとなるSV（スーパーバイザー）を配置を行います。これにより、SVを中心としたSSWチームの事例検討会や研修会、また、SVからのスーパーバイズ等、研修の場を構築します。  ●教育相談活動事業 年々増加する不登校児童生徒への教育機会の提供や居場所確保のため、サテライトあすなろ教室を拡充し対応します。  【再編・再構築】 ●豊かな心をはぐくむ実践事業 教育委員会及び市立小中学校等全70校において6月の1か月間を「いのちを見つめる強調月間」と設定し、児童生徒の豊かな心を育む様々な取組を実践しています。その一環として教育委員会が主催する「いのちを見つめる講演会」を一層充実したものにすため、児童生徒の参加を増やす手立てを講じ、「生きる力」、「いのち」について、大人も子どもも共に広く深く考える機会とします。
	101.6	100.7	99.1%	101.6	102.0		
KPI達成状況の分析							
●本市の豊かな心をはぐくむ教育事業の実践、一人一人の心に寄り添う事業は一定の成果が認められるものの、社会の変化と複雑化・多様化する児童生徒の課題に対応するためには、今後事業の見直しとともに、各事業の質の向上とさらなる人的体制の構築が必要です。 ●児童生徒の不登校者数は、全国同様に本市においても増加傾向となっており、複雑化している児童生徒の困り感やニーズへの対応が喫緊の課題となっています。							

# 【ひと】教育政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 (※H30)	目指す方向	
学校教育及び社会教育を充実し、誰もが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合えることができるまち	市民1人あたりの生涯学習に関わった回数	8.8回/人	学校教育や生涯学習環境の場において、子どもたちを含む市民が生涯を通じて自らが学び、文化、スポーツ等に親しむことができる環境の充実を図ることにより、生きがいに満ちた暮らしを実現します。

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性		
	R4目標値	R4実績値	R4達成度 (%)	参 考					
				R4目標値	R5目標値				
<b>【施策2】</b> <b>豊かな心を育むまちづくり</b>	放課後子ども教室等に携わった大人の人数【人】					<ul style="list-style-type: none"> <li>●学社融合推進事業</li> <li>●家庭教育推進事業</li> </ul>	<b>【重点化】</b> ●学社融合推進事業 ・子どもたちを地域で見守り、心豊かに育むため、学校・家庭・地域が連携・協働し、安全で豊かな放課後の時間を実現するための放課後子どもプランの充実に努めます。 ・より多くの子どもや地域住民に参画してもらうため、また、担い手不足の解消に向けて、チラシ、ホームページなどのSNSを活用した情報発信を行い、放課後子ども教室や地域未来塾など、地域学校協働活動の啓発に取り組みます。 ・地域の教育力を活用し、子どもたちの基礎学力の向上と学習習慣の定着化、社会性や規範意識、コミュニケーション能力の向上を図るための学習支援である地域未来塾について、他地区での展開が可能となるような方策についても検討を進めます。 ・佐世保市としての教育コミュニティづくり（コミュニティスクール＋地域学校協働活動本部）の全市展開に向け、重点的に取り組みます。  ●家庭教育推進事業 家庭教育はすべての教育の出発点であり、家庭や地域の教育力の向上がより重要になってきています。コロナ禍をはじめとする社会の変化に対応した効果的な家庭教育支援の取組を行っていくため、メディア安全指導員によるメディア講座やながさきファミリープログラムを活用した家庭教育講座など、より効果的に利用してもらえるよう、周知・啓発に努めます。		
	<b>24,000</b>	<b>10,692</b>	<b>44.6%</b>	24,000	24,000				
	KPI達成状況の分析								
	●新型コロナウイルス等の感染症拡大の影響から、事業の実施回数及び参加者数が減少し、前年度より実績値は上がったものの、目標値を達成できませんでした。しかしながら、事業に関わる人材の掘り起こしのため、市内大学への協力要請や各種研修を通じ参画意欲の醸成を図ることにより、担い手不足解消に向けた取り組みを行いました。 ●子育て講座などの実施においては、感染症対策を講じたうえで講座を複数回に分散したり、オンラインを活用した非接触型での講座を実施しました。								
	健全育成事業への参加者数【人】							<ul style="list-style-type: none"> <li>●青少年教育事業</li> <li>●青少年非行防止推進事業</li> </ul>	<b>【重点化】</b> ●青少年教育事業 各地区の青少年育成会または自治協議会青少年育成部と青少年を取り巻く課題について、青少年育成連盟との協議・連携を深めます。  ●青少年非行防止推進事業 青少年教育センターの青少年非行対策に関する機能の見直し及び子育て機関とも連携した幅広い教育支援機能の充実を、関係機関・関係団体等との協議を重ね、改善を進めていきます。  <b>【再編・再構築】</b> ●青少年非行防止推進事業 ・従来の補導活動に加え、ネットパトロールを実施することにより、ネットトラブルの早期発見・未然防止等、時代に合った取組を進めます。 ・青少年教育センターの移転建替を含め、新たな機能への転換を踏まえた検討を進めます。 ・非行防止対策について、現状に即した施策にシフトするため、今後の在り方を研究していきます。
	<b>27,000</b>	<b>13,376</b>	<b>49.5%</b>	27,000	27,000				
	KPI達成状況の分析								
	●新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区育成会の事業実施の状況はコロナ前と比較して参加者数が減少しました。しかしながら、感染症対策を講じ佐世保市青少年育成連盟の会議を継続し開催するなど、コロナ禍における健全育成活動の今後について協議・情報交換を行いました。								
	●広い世代への周知する目的で開始した「まちなか徳育標語コンクール」の応募総数が、実施方法の変更等により令和元年度から半減したことから、周知方法が課題となっています。しかしながら、徳育推進のまちづくり10周年を迎え、徳育推進フォーラムの開催等の従来の取り組みに加え、佐世保徳育推進会議10周年記念誌の作成などKPIに寄与する新たな取り組みを行いました。								

## 【ひと】教育政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H30）	目指す方向	
学校教育及び社会教育を充実し、誰もが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合えることができるまち	市民1人あたりの生涯学習に関わった回数	8.8回/人	学校教育や生涯学習環境の場において、子どもたちを含む市民が生涯を通じて自らが学び、文化、スポーツ等に親しむことができる環境の充実を図ることにより、生きがいに満ちた暮らしを実現します。

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R4目標値	R4実績値	R4達成度（%）	参 考			
				R4目標値	R5目標値		
<b>【施策3】</b> <b>生涯学習・生涯スポーツの充実</b>	生涯学習事業への参加者数【人】					<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習推進事業</li> <li>●生涯学習支援事業</li> <li>●英語シャワー事業</li> <li>●世界遺産保存整備事業</li> <li>●針尾送信所保存整備事業</li> <li>●文化財の調査・保護・活用事業</li> <li>●福井洞窟整備・発掘事業</li> </ul>	<b>【重点化】</b> ●生涯学習推進事業 ・講師派遣事業について、市民の関心の高い講座や地域の問題解決のための講座など、多様な講座の実施により受講者の自己実現を支援するとともに、地域の課題解決に主体的に取り組む人材の育成を図ります。 ・より多くの方に生涯学習の機会を持ってもらえるよう、チラシやホームページ、SNS（ソーシャル・ネット・ワーキングサービス）を活用した情報発信を行い、生涯学習推進事業の啓発に取り組みます。 ・コロナ等に左右されることなく外部研修派遣を継続するため、積極的にオンラインを活用した参加を促すなど、職員の資質向上について引き続き促進を図ります。  ●文化財の調査・保護・活用事業 ・「立神広場整備活用事業」において立神広場を日本遺産「鎮守府」の拠点施設となる歴史公園の整備について重点化を図ります。 ・「楠本端山旧宅保存整備事業」においては針尾地区に所在する県指定文化財「楠本端山旧宅」を計画的に保存改修を行うことで、文化財の保存・活用について重点化を図ります。  <b>【再編・再構築】</b> ●生涯学習推進事業 生涯学習指導事務について、市民の学習情報へのアクセスを簡易化するため、ホームページのリニューアルや、SNSの活用など、広報の見直しを図ります。  ●英語シャワー事業 文化等を介した市民と外国人の交流事業の開催のほか、日頃学校で授業を受けている英語について、更に学びを深めたいと思う小学6年生を対象に、英語を話すことと異文化理解を目的とした一連のプログラムを社会教育の領域で提供する「SASEBOグローバルキッズ・チャレンジ事業」に引き続き取り組みます。
	165,000	133,504	80.9%	165,000	164,000		
	KPI達成状況の分析						
	●新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、特に出前講座並びに生涯学習ボランティア講師派遣事業の開催自粛が相次ぎ、減少となりました。 ●英語シャワー事業においては、コロナ禍による事業規模の縮小により目標値には届かなかったものの、SNSを利用した情報発信や、市役所内関係課との連携などにより、KPI向上に寄与する取り組みを行いました。加えて感染予防対策に努めながら、アフターコロナを見据えて事業を実施することができ、英語によるコミュニケーションに特化した機会を市民に提供することができました。						

# 【ひと】教育政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H30）	目指す方向	
学校教育及び社会教育を充実し、誰もが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができるまち	市民1人あたりの生涯学習に関わった回数	8.8回/人	学校教育や生涯学習環境の場において、子どもたちを含む市民が生涯を通じて自らが学び、文化、スポーツ等に親しむことができる環境の充実を図ることにより、生きがい、に満ちた暮らしを実現します。

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性		
	R4目標値	R4実績値	R4達成度 （%）	参 考					
				R4目標値	R5目標値				
【 施策3 】 生涯学習・生涯スポーツの充実	生涯学習拠点施設の利用者数【人】					<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティセンター活性化事業</li> <li>●コミュニティセンター活性化事業</li> <li>●図書館運営事業</li> </ul>	<p><b>【重点化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティセンター活性化事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティセンターが主催する講座やサークル活動・地域活動など市民活動の手法を研究・共有することを目的に、内部研修の充実及び外部研修への積極的な派遣を行います。</li> <li>・ニーズを的確にとらえた講座や活動を提供するため、職員の社会教育的資質の向上を目指し、社会教育主事講習への積極的な派遣を行います。</li> <li>・既に社会教育主事講習を受講した職員のスキルアップを目的に、社会教育主事講習の一部科目指定講習への派遣を行います。</li> </ul> </li> <li>●図書館運営事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>電子図書館の利用率の向上を図るため、コンテンツの充実及び図書館独自の資料データベースのさらなる拡充を行い、より高度な利用者ニーズに応えられるよう努めます。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【再編・再構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティセンター活性化事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の経験を契機として、今後は従来の会場参加型講座に加え、オンライン講座等の非接触型の学びも提供することで、諸環境の変化に対応した取組を進めます。</li> </ul> </li> </ul>		
	1,515,000	1,047,685	69.2%	1,515,000	1,517,000				
	KPI達成状況の分析								
	●新型コロナウイルスの影響を受け利用者数の減少により、目標を十分に達成することができませんでした。KPI向上に向けては、リモートやオンラインを活用した主催講座の周知・支援、コミュニティセンター職員のマネジメント力・企画力向上を図る研修の実施など、施設利用者の増加に寄与する取組を進めます。								
	拠点スポーツ施設の利用者数【人】							<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ×地方創生事業</li> <li>●スポーツ×健康事業</li> </ul>	<p><b>【重点化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ×地方創生事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>地方創生の観点から、イベント等の検討段階から観光や文化部門等との連携や共同事業を検討。相乗効果に加え、経費分担によるコスト削減を実現、年間を通じて、新鮮な賑わいづくりを創出することに努めます。</li> </ul> </li> <li>●スポーツ×健康事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進に向けた取組みは、単なる啓発に留まらず、自主的な習慣となるよう個々人のフェーズに応じた事業を企画し、民間スポーツ活動ともつながるよう働きかけていきます。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【再編・再構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ×環境事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少社会への対応として、スポーツ施設全体を勘案した再編計画をR6年度末までに策定予定です。</li> </ul> </li> </ul>
	533,000	458,368	86.0%	533,000	534,000				
	KPI達成状況の分析								
	●R4年度は、新型コロナウイルスの影響も一定落ち着きが見られたため、施設の休場や各種大会の中止などがあった過去2年と比べると利用者数は改善しており、平常に戻りつつあると考えられます。								